

伊吹高校 ホッケー部 全国舞台で活躍

佐賀国スポで本校男女ホッケー部が出場し、輝かしい成績を残してくれました。

活躍の様子は、新聞で多数記事が掲載されましたので、ここに紹介させていただきます。

少年男子の部で2年ぶり7回目の優勝を手にしました。決勝戦では鳥取と対戦し、終了間際に北村逸希選手のシュートが決まり、1-1の同点で両県ともに優勝となりました。

【少年男子準々決勝】

滋賀（伊吹高校）6-0 山梨（選抜）

【少年男子準決勝】

滋賀（伊吹高校）0-0 岐阜（選抜）

（SO 3-2）

【少年男子決勝】

滋賀（伊吹高校）1-1 鳥取（八頭高校）

少年女子の部では、惜しくも3位に甘んじる結果となりましたが、次年度地元で行われる滋賀国スポでの優勝に向けて、雪辱を誓い合いました。

【少年女子1回戦】

滋賀（伊吹高校）3-0 栃木（選抜）

【少年女子準々決勝】

滋賀（伊吹高校）4-0 宮崎（高鍋高校）

【少年女子準決勝】

滋賀（伊吹高校）0-0 島根（横田高校）

（SO 0-2）

【少年女子3位決定戦】

滋賀（伊吹高校）4-0 北海道（北海学園札幌高校）

【2024年10月10日 ホッケー部祝勝会】

佐賀国スポ男子ホッケー部優勝から一夜明け、朝7:30に佐賀を出発し、1日かけてバスで帰郷。

18:00過ぎに学校へ到着し、玄関で教職員や保護者、生徒に出迎えられ、北川幸生監督を先頭にメダルを胸に、賞状を手にして誇らしげに祝勝会の会場へと向かいました。

男子に続き、前日帰郷した佐賀国スポ3位の女子ホッケー部も、椿裕規監督を先頭に会場に向かいました。

会場の武道場では、米原市副市長 要石祐一様を始め、ホッケー協会、同窓会長など6名の来賓が大きな拍手と笑顔で監督・コーチ・選手たちを出迎えられました。

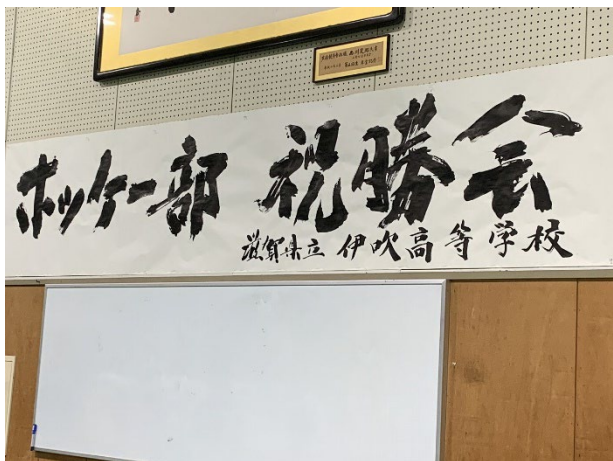
生徒会による司会進行により、松本校長・来賓挨拶、来賓紹介、生徒会長池宮さんの挨拶の後、お祝い金並びに記念品が贈呈されました。

その後、監督・選手紹介がなされ、男子主将真田さん・女子主将宮元（みやもと）さんから大会の報告がありました。二人からは、皆さんの応援が大きな力となったと感謝の言葉を述べていました。

報告会の後、祝賀パーティーに移り、乾杯の後、互いの健闘を讃えるとともに来賓の方や学校関係者、保護者の方々から祝福を受けていました。

選手は、これまで自分を支えてもらった家族や仲間とともに記念写真を撮って一生の思い出としていました。

後輩たちは、この喜びを胸に自分たちもこうして多くの人から祝福されるように頑張りたいと力強く語っていました。今後の活躍を多いに期待しています。



【2024年10月23日 ホッケー部国スポ報告会】

生徒会主催による男女ホッケー部2024佐賀国スポの結果報告会を実施しました。体育館に全員集合し、選手はメダルをかけ、賞状を持って堂々と笑顔で入場しました。全校生徒へのお披露目はこのときが初めてとなりました。

男子ホッケー部主将の眞田さんからは、全校生徒・教職員への感謝と、次の大会に向けた決意が語られました。

女子ホッケー部主将の宮元さんからは、優勝を逃してしまった悔しさが伝わるような報告でしたが、最後は次の目標を見据え、次の大会への決意を語ってくれました。

悔しい思い、反省も垣間見える報告でしたが、両主将とも次の大会を見据え、更なる飛躍を誓い、報告を終えました。

両主将の報告後、生徒会長からねぎらいの言葉があり、学校を代表して優秀な成績を取めたホッケー部に生徒・教職員から大きな拍手が送られました。



"お家芸" ホッケー 滋賀V



ホッケー少年男子決勝 滋賀―鳥取
第4クォーター、同点ゴールを決めた
滋賀の北村(佐賀県伊万里市・伊万里ホ
ッケーフィールド)―撮影・三木千絵

伊吹高勢が躍動 間際に劇的同点

国民スポーツ大会(国スポ)は9日、
佐賀県伊万里市の伊万里ホッケーフイ

佐賀
国スポ

ルドなどで行われ、ホッケーの少年男子
決勝は、滋賀(伊吹高)が1―1で鳥取
(八頭高)と引き分けて両チーム優勝と
なり、2年ぶり7度目の頂点に立った。
フェンシングのフルレでは、少年女
子の京都(今村、清水、竹山)が決勝で

東京を2―1で破り、5年ぶり3度目の
優勝を果たした。少年男子の京都(小野、
前田、湯浅)は3位。馬術の成年女子二
段階障害飛越(減点法)は、滋賀の治武
しおり(クインティナ)が制し、成年男
子ダービーは滋賀の小牧加矢太(トウア

イクリスタル
レスリング
ル86kg級の髙
―日体大出と
大、網野高出
成年男子の京

(佐賀県伊万里ホッケーフ
ィールドほか)
▽少年男子決勝
滋賀 1 0 0 0 0
伊吹 1 0 0 1 0
1 0 1 0 1 鳥取
高(八頭
両チーム優勝)
(滋賀は2年ぶり7度目、鳥
取は初優勝)

ホッケー少年男子決
勝。残り5分、1点を
追う滋賀(伊吹高)は、
大辻が守備網をかくく
ぐつて右サイドを上げ
り、中央へパスを送っ
た。球が相手に当たっ
て弾んだ先にいたのは、
エースの北村。「決め
めるのは僕しかない」

スティックを全力で
振り抜くと、乾いた音
とともに球はGKの足
元を鋭く抜いた。土壇
場で値千金の一撃を決
め「言葉に表せないく
らい最高に気持ち良か
った」と、喜びを爆発

少年男子2年ぶり 来年湖国開催へ弾み

させて応援席の仲間と
ハイタッチした。

後半早々に先制さ
れ、北川監督は「リス
クを負ってでも前に行
こう」と指示。体力を
振り絞って圧力をかけ
続け、最終盤に同点機
を生み出した。アシス
トした大辻のポジション
は最後列で守備を専
門とする「スイーパー」
。それでも「点を
取ることだけ考えた。
(体力は)めっちゃき
つかったけど踏ん張り
ました」と笑った。

湖国の「お家芸」と呼
べるホッケーで王座を
勝ち取り、来年の滋賀
国スポに弾みを付け
た。真田主将は「伊吹は
楽しくホッケーをして
いる時が一番強い。後
輩も楽しんでプレーす
れば勝てる」とエール
を送った。(辻孝典)

"お家芸" ホッケー 滋賀V



ホッケー少年男子決勝 滋賀―鳥取
第4クォーター、同点ゴールを決めた
滋賀の北村(佐賀県伊万里市・伊万里ホ
ッケーフィールド)―撮影・三木千絵

伊吹高勢が躍動 間際に劇的同点

国民スポーツ大会(国スポ)は9日、
佐賀県伊万里市の伊万里ホッケーフイ

佐賀
国スポ

ルドなどで行われ、ホッケーの少年男子
決勝は、滋賀(伊吹高)が1―1で鳥取
(八頭高)と引き分けて両チーム優勝と
なり、2年ぶり7度目の頂点に立った。
フェンシングのフルレでは、少年女
子の京都(今村、清水、竹山)が決勝で

東京を2―1で破り、5年ぶり3度目の
優勝を果たした。少年男子の京都(小野、
前田、湯浅)は3位。馬術の成年女子二
段階障害飛越(減点法)は、滋賀の治武
しおり(クインティナ)が制し、成年男
子ダービーは滋賀の小牧加矢太(トウア
成年男子の京

イクリスタル
レスリング
ル86kg級の髙
―日体大出と
大、網野高出
成年男子の京

(佐賀県伊万里ホッケーフ
ィールドほか)
▽少年男子決勝
滋賀 1 0 0 0 0
伊吹 1 0 0 1 0
高 1 0 1 0 1
(両チーム優勝)
(滋賀は2年ぶり7度目、鳥
取は初優勝)

ホッケー少年男子決
勝。残り5分、1点を
追う滋賀(伊吹高)は、
大辻が守備網をかくく
ぐつて右サイドを上げ
り、中央へパスを送っ
た。球が相手に当たっ
て弾んだ先にいたのは、
エースの北村。「決
めるのは僕しかない」

スティックを全力で
振り抜くと、乾いた音
とともに球はGKの足
元を鋭く抜いた。土壇
場で値千金の一撃を決
め「言葉に表せないく
らい最高に気持ち良か
った」と、喜びを爆発

少年男子2年ぶり 来年湖国開催へ弾み

させて応援席の仲間と
ハイタッチした。

後半早々に先制さ
れ、北川監督は「リス
クを負ってでも前に行
こう」と指示。体力を
振り絞って圧力をかけ
続け、最終盤に同点機
を生み出した。アシス
トした大辻のポジショ
ンは最後列で守備を専
門とする「スイーパー
」。それでも「点を
取ることだけ考えた。
(体力は)めっちゃき
つかったけど踏ん張り
ました」と笑った。

湖国の「お家芸」と呼
べるホッケーで王座を
勝ち取り、来年の滋賀
国スポに弾みを付け
た。真田主将は「伊吹は
楽しくホッケーをして
いる時が一番強い。後
輩も楽しんでプレーす
れば勝てる」とエール
を送った。(辻孝典)

追加点でチームに勢い

伊吹高エース田中選手 ホッケー

2点目を決め、勝利に貢献した田中中心那選手はチームのエース。「冷静に、近くからしっかりと打てた」と振り返った。

第2Qの19分。相手から球を奪い取ると、そのままドリブルでサークル内に「くせ」を冷静に把握していた。「自分のシュートは高く浮きやすい。前に近づくと心がかけた」と、相手をかわしてキーパーの前で放ったシュートは鮮やかにゴールに吸い込まれた。

「追加点でチームが勢いいたのでよかった」試合後、3位という誇れる結果に笑顔を見せたが、「優勝を狙っていたのであまりうれしくない」とも打ち明けた。

高校卒業後、県外の大学に進学するが、2025年の滋賀での国スポには滋賀チームの一員として出場することを目指す。「来年は自分のプレーで地元を元気づけたい」。成長した姿で雪辱を誓った。

(比嘉祐也)



伊吹高終始主導権 ホッケー少年女子3位

3位決定戦は攻守で相手W山本鈴菜選手(1年)がを圧倒し、完勝だった。ホッケー少年女子で伊吹高が4-0で北海道を破り、大事な一戦を制した。序盤につかんだ主導権を最後まで手放さなかった。第1クォーター(Q)、Fにシュートを打たせない強

①第2Q、2点目のゴールを決める田中選手
②ホッケー少年女子で3位に入った伊吹高の選手たち(いずれも佐賀県伊万里市で)

力な守りも光った。DF宮元緋未主将(同)は「優勝を目指していたので悔しさはあるけど、メダルを取れたのはうれしい」と笑顔。椿裕規監督は「来年は応援してくれる地元の人たちに恩返しをしたい」と語り、2025年の滋賀での優勝へ意欲を見せた。

